

「話し合いの場」

話し合いの内容	<p>これまでの話し合いで明らかになった六郷地域の子どもに関する「課題の本質」に対して、行政だけではできない、私たち地域だからこそ子どもたちのために出来ることを「①住民が SOS をだしやすい、発見しやすいしくみ」「②地域活動に参加しやすいしくみ」「③まちに関心・愛着をもってもらうしくみ」という3つ視点で具体的に取るための話し合いをしてきました。</p> <p>本日は、あらためてこのプラットフォームの効果とねらいについて社協から説明したあと、これまでの成果について全参加者から参加する前と後でどんな変化・成果があったか発表していただきました。</p> <p>それを踏まえて、来年度はどんな1年、そして次回までにどんな“行動”をするかについて話し合いました。</p>
主な参加者種別	自治会・町会の方、民生委員児童委員、区民活動団体、NPO法人、社会福祉法人、民間企業、児童館、子ども家庭支援センター、地域包括支援センターなど
これまでの成果	<p>①子どもの実態把握・発見できたこと</p> <ul style="list-style-type: none">・ いろいろな他の組織（NPOや民間団体）での子どもの関わり方がわかった。・ 違う視点で関わっている人のお話は参考になった。・ 六郷にたくさんの公園があることを知りました。・ 児童館と学校の放課後教室の利用と活動を知ることができた。・ 幼稚園の母親達に興味をもつようになった。・ 六郷地域での子どもの遊び場がわかった。・ 子どもの支援と高齢者の事業は似ているところもあり、事業実施の参考になった。・ 自分たちの活動以外の地域での子どもたちの遊び場の様子がわかった。・ 六郷地区の中でも地域特徴が違うことがわかった。・ 子どもたちと直に接する団体からの話を聞くことで生の声を知ることができた。・ この話し合いから実際にイベントを実施してみたら、イベントに参加するたくさんの親子が地域にいることがわかり、喜ぶ顔が見れたことで今後の励みになった。・ 自分の町会外の子どもの現状把握ができた。

②話し合いや勉強会の中で理解が深まったこと

- ・ 大田区でプレーパーク活動をやっている実践があること
- ・ 会を重ねることで、良い近い存在として他の団体の活動を伺うことができた。
- ・ 子ども食堂に関心が出てきた。
- ・ 自治会町会からNPO、企業までさまざまな方と知り合いになった。
- ・ いろんな団体があり、子どものために行動している人が多いことがわかった。
- ・ 大田社協と年末にクリスマス会ができたことが良かった。

③他団体との連携・交流が図れたこと

- ・ 他団体の方との顔の見える交流ができた。
- ・ 他団体からの見学があった。
- ・ 他団体との相互理解が進んだ。
- ・ イベント開催の協力打合せができた。
- ・ この参加者が新しく始めたイベントに参加させていただいた。
- ・ 地域包括支援センターと児童館とのつながりができ、懇談会に参加してもらったり、児童にお年寄りのことを知るきっかけの体験の企画ができた。
- ・ 今まで知らなかった社会福祉法人やNPO法人の活動を知り、交流が図れた。
- ・ たくさんの情報共有ができたし、近くにある団体のことがわかった。
- ・ 現場の生の声がきけて、民間企業として協力すべきことがあると思った。

④自身の団体の事業に反映できたこと

- ・ 放課後教室で具体的に学習支援をすることになった。
- ・ 他団体とのつながりができ、イベント協力いただいた。
- ・ この会を通じて、元お蕎麦屋さんの空き店舗の情報を紹介してもらえた。
- ・ 「ちいきげんき食堂」の開催を計画中。
- ・ 子どものボランティアの場ができた。
- ・ この会で出会った方々がイベントにボランティアスタッフとして参加してくれて遊びコーナーも盛りだくさんにできた。

参加者の気づき・成果の発表の様子



子どもの実態把握・発見できたこと

- ・六郷の地域性がよくわかるようになった。
- ・イベントを通して六郷の親子、子どもの笑顔を発見できた😊
- ・親の目が離れてからの子どもの見守り、取り組み、勉強していきたい。
- ・まちのお母さんたちの話に身を傾けるようになった。
- ・本当のSOSは何だろう、皆で何ができるだろう。

話し合いや勉強会で理解が深まったこと

- ・プレパフの取り組み、色々な人と知り合い、かかわっていききたい。
- ・他団体の活動を知り、かかわっている子どもたちの活動に広がりをもたせていきたい。
- ・有隣協会さん、^{放課後ササビ}「探偵ズブ」さんのことがよくわかった。
- ・こども食堂だんだんの理解が深まった。

皆さんの生の声を聞くことができた、現場の生の声に合った取り組みをしていきたい。

『地域元気食堂』やっていきたい

- ・知り合った皆さんと一緒に何か活動したい。
- ・共感者を表に出す、提案・行動・まとめる

他団体と連携・交流

- ・児童館 包括と交流することになった、体験カフェ
- ・学校関係者と交流したかった。
- ・児童館のきめ細かい対応、役割がよくわかった。
- ・交流イベントができた。
- ・団体の活動をお知らせすることができた。民生委員さんへ見学に来てくれた。

自身の団体の事業に反映

- ・4/4～東六小学校で学習教室
- ・『5/19 馬場葉子やさん』まずはやってみよう
- ・プラットフォームの成果や効果がもっと出るといいと思う。

来年度の目標や 次回までの行動 目標

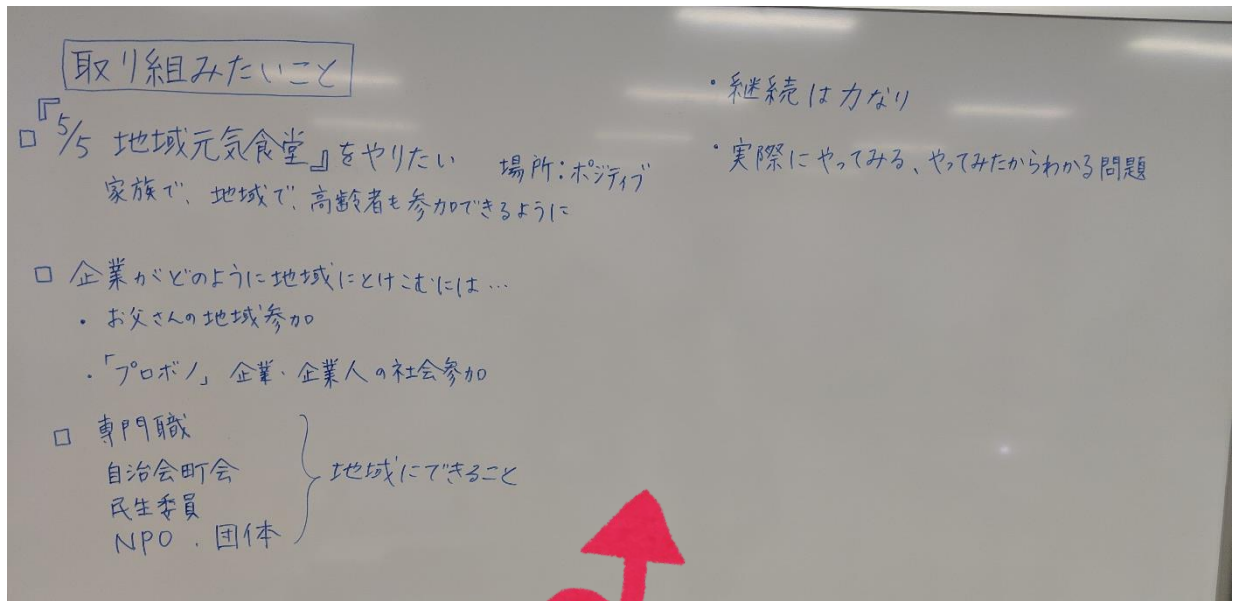
①年間を通じて取り組みたいこと（年間目標）

- ・これから児童相談所が立ち上がることをふまえて地域に必要なものを考える。
- ・地域の居場所づくりの経験交流を図る。
- ・自分に貢献できることを探す。
- ・助けてほしいことを探す。
- ・不登校への理解をこのプラットフォームに参加している方々に広めていきたい。
- ・このプラットフォームで交流をしながら、こちらが take できること、他団体から give してもらえることを知っていきたい。
- ・商店街と連携して子どもイベント、高齢者イベントを実施する。
- ・継続できるイベントにしたい。
- ・子ども食堂について勉強する。
- ・いろいろな立場や視点での今の子どもの現状を知り、把握に努め、自分の業務に活かしていくことで、六郷地域に貢献していく。
- ・より六郷の地域を掘り下げた子どもをとりまく実態を知っていきたい。
- ・2か月に1回「ちいきげんき食堂」をみなさんとやりたい。
- ・子どもも高齢者も同じ場で楽しめる取り組みをしたい。
- ・自分の特技（おもちゃドクター資格）を活かして交流の場づくりに貢献したい。
- ・継続して参加し、この活動内容をより深く理解し、さらに行動に移したい。
- ・月1回の駄菓子屋さん（お菓子を買うだけに終わらず、大人用コーヒーや子育て相談、紙芝居、人形劇など広げていきたい）を取り組む。
- ・今後町会の体制作り、他団体とのつながりを強化し、一の矢でなく、三本の矢で行いたい。

②次回開催まで取り組みたいこと（行動目標）

- ・多世代交流を実施する。
- ・子どもをめぐる社会を子どもの目を通じて考える。
- ・ポジティブさんが実施する5/5子ども食堂のお手伝い・参加する。
- ・さまざまな事業に参加する。
- ・子ども事業に関する取り組みに事業所のイベントなどに参加したい。
- ・みんなと協力して「ちいきげんき食堂」をやりたい。
- ・住民としては、家内、近隣など子どもの見守りについてヒアリング
- ・今までの勉強会をプラスにして現実に行う。
- ・地域住民との交流
- ・プラットフォームの取り組みをより多くの人に周知する。

来年度の目標等の話し合いの様子



次回は、**5月7日（火）**に
平成30年度の実績報告会と
それぞれの活動を共有して次なる“行
動”をみんなで考える話し合いの場を行
います。

どうぞよろしくお願いいたします！

18時30分から20時30分まで
会場は、六郷地域力推進センター4階会議
室です。

お待ちしております。